

2024年11月27日

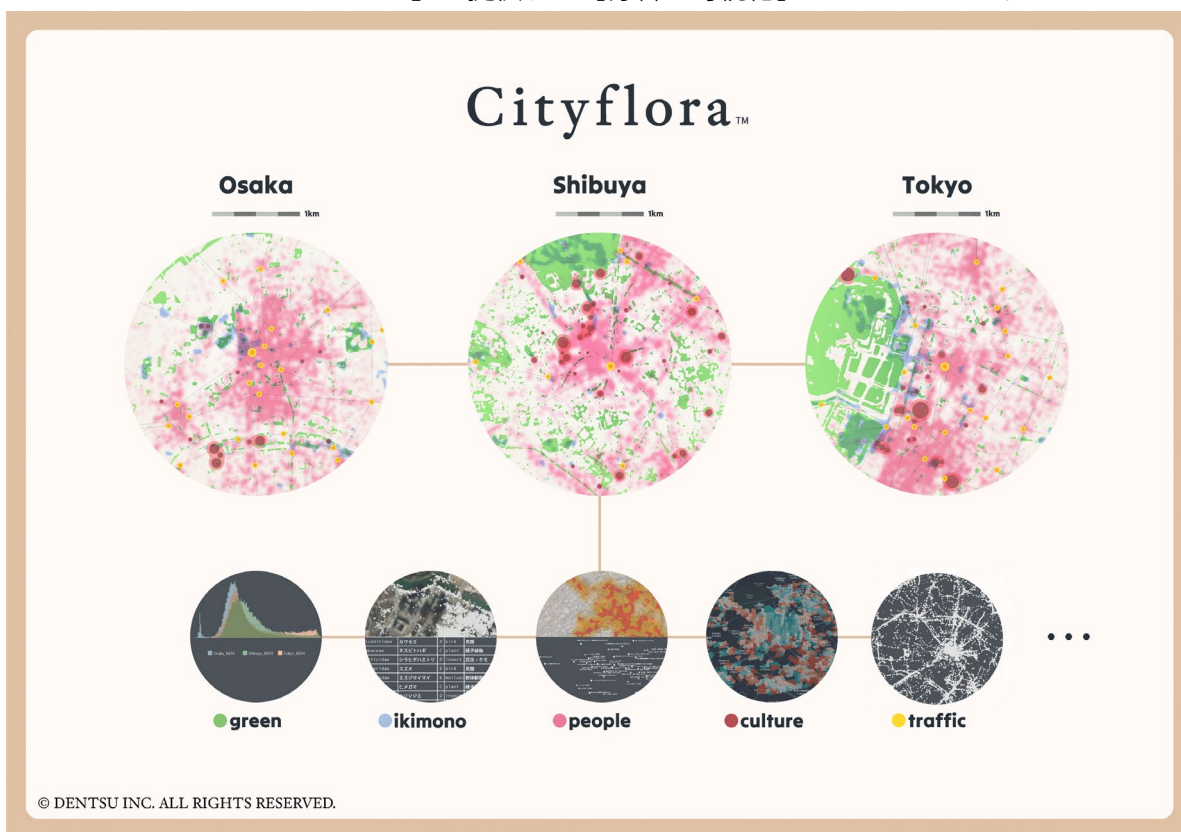
都市・まち独自の価値創造を、人・生きもの・都市リスク視点で支援する「シティフローラ™」を提供開始

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：佐野 傑、以下「電通」）は、都市・まちの分析から、未来の価値創造までを、人・生きもの・都市リスク視点で支援するサービス「シティフローラ™」を開発し、本日より提供を開始します。

近年、都市・まちの開発においては、その土地の発展を目指すことはもちろん、注目の高まっている生物多様性、増加する都市災害のリスクなども含めて都市・まちの課題とポテンシャルを捉え直し、中長期的な価値を新たに創造していく姿勢が求められています。

「シティフローラ™」は、電通が長年マーケティングコミュニケーション領域で培ってきた人の行動・インサイト分析をベースとしています。「人」の視点を中心に、足元に息づく「生きもの」から、広域的「都市リスク」の視点まで専門的知見を持ち、エンジニアリングを有する企業と連携することで、多角的に都市・まちへアプローチします。

<「シティフローラ™」が提供する【分析・可視化】のイメージサンプル>



■ バイオーム社、アラップ社と連携した高度な専門体制を構築

「シティフローラ™」は、株式会社バイオーム（本社：京都府京都市、代表取締役：藤木 庄五郎、以下「バイオーム社」）と、オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド（所在地：東京都千代田区、日本における代表者：小栗 新、以下「アラップ社」）と連携し開発しています。

バイオーム社とは、人と自然の関係価値に着目し、都市・まちのネイチャーポジティブ支援、自然共生社会の実現に向けた評価指標の策定などで連携し、生物多様性データの収集・解析の専門体制を構築します。

またアラップ社とは、海外で先行する、気候変動などマクロな都市災害リスクに向き合ったレジリエントな都市計画や、評価指標の策定などで連携し、国際的なネットワークを構築します。

■ データと感性、エンジニアリングとクリエイティビティを横断するアプローチ

「シティフローラ™」は、都市・まちの課題とポテンシャルに対して①分析・可視化、②創造・提言、③数値化・事業推進の包括的アプローチが可能です。これにより都市・まちに関わるすべての事業者の課題に対応します。

- ① 【分析・可視化】都市・まちの現在を、さまざまなデータを重ね合わせ分析・可視化します。人・生きもの・都市リスク視点に基づく、客観的なデータエンジニアリングにより、議論と創造の土台を形成します。
- ② 【創造・提言】人の幸福を追求する都市、人と生きものがつながり合う自然共生社会、幸せな生活を維持することのできるレジリエントな都市。未来ビジョンから、都市・まちの価値創造をバックキャストします。
- ③ 【数値化・事業推進】事業者が、その事業を計画・実施・評価することに向き合います。経営にフィードバックできる最適な指標（INDEX）や事業評価方法（KPIなど）を共に検討します。

都市・まちは一つの生態系のようなものであり、その様子を複数の視点で捉え、多様性のバランスを見極め適切に育成していくことが重要であると捉え、「シティフローラ™」を開発しました。これは、人の体内に棲みつき共生する「腸内フローラ」から発想されています。都市・まちの複雑な状態を、データとクリエイティビティの力で可視化することで、幸せや健康といった明確な答えのないゴールに向けて、都市・まちづくりを伴走支援していきます。

「シティフローラ™」は都市・まちに関わるすべての事業者を対象としますが、以下の志向を持つ事業者へのサービス提供に重点を置いています。

- これからの時代の幸福感を捉え、人を中心とした開発へとシフトしたい。
- 自社の事業理念を反映した、エリア価値向上の新たなロジックをつくりたい。
- 自然や環境を重視する計画目標と、事業としての成果を接続したい。
- 産業拠点の用途転換が迫られる中で、既存事業とこれからの時代の価値観とのシナジーを見いだしたい。
- 出店計画などを立てる際に、市場調査だけでなく、独自のまちの捉え方でブランドを作っていきたい。

＜「シティフローラ™」の3つの視点と3つのアプローチ＞

都市・まちの課題と魅力

人視点

生活者の価値観と幸福感を捉える

そのまちで人は何を思い、どんな充実感・幸福感を持っているのか。デジタルベースの生活、住み方や働き方が多様な社会において、未来を育むフィールドとしての都市を追求します。

生きもの視点

人と自然の関係からwell-beingを引き上げる

都市・まちには、まだ顕在化していないネイチャーポジティブの余白がたくさんある。それらを見出し、つなぎ、育てていく視点で都市・まちを見つめ、自然共生社会を進めています。

都市リスクの視点

マクロな都市問題・都市災害リスクに向き合う

今後重要になってくるのは温度上昇への適応を可能とし、幸せな生活を維持することのできるレジリエントな都市づくりです。世界の先進的な事例に学びながら独自の都市計画を導きます。

Cityflora™

3つの視点と3つのアプローチ

分析・可視化アプローチ

フィールドワークとデジタルエンジニアリング

リアルなフィールドワークと、客観的なデータエンジニアリングにより、都市・まちの広域圏を分析・可視化します。新たな発見やアイデアを導く、議論と創造の土台として役立ちます。

創造・提言アプローチ

未来バックキャストとクリエイティブ発想

今の社会課題と未来予測を理解するツールでの創発セッションなどを通じ、確かに想定される未来と、みんながワクワクするクリエイティブジャンプした未来の双方からアプローチします。

数値化・事業推進アプローチ

事業者としての計画・実施・評価までを支援

理想の都市・まちを事業として実現するために、経営にフィードバックできる最良のコンセプトとロジック、事業評価方法（KPIなど）を共に検討し、事業計画から評価までを支援します。

フローラ化する都市・まちへ

電通は今後、「シティフローラ™」を通じて、都市・まちに関わるすべての事業者が、マクロな都市リスクを捉えながら、開発と保全を計画し、人・生きもの視点での幸せの追求を可能にする社会を目指していきます。



「シティフローラ™」は、電通が提唱する、事業グロースのための次世代マーケティングモデル「Marketing For Growth」の4つのプロセスのうち、「Mechanism Resolving（市場構造説明、インサイト説明）」、「Value Designing（価値創造設計）」に該当するサービスです。「Marketing For Growth」については以下リリースをご確認ください。
<https://www.dentsu.co.jp/news/business/2024/0130-010682.html>

〈株式会社バイオームについて〉

生物多様性の保全を目指す企業として、2017年に設立。主なサービスとしていきものコレクションアプリ「Biome」や生物調査ツール「BiomeSurvey」などを提供し、生物多様性のデータを収集・解析しています。また、企業や行政と連携し、ネイチャーポジティブプロジェクトを推進し、経済と生物多様性保全の両立を目指しています。

〈アラップ社について〉

Arupは世界34カ国に18,000名以上のスタッフを擁し、国際的な業務展開を行うエンジニアリング・コンサルティング会社です。土木、建築、鉄道、エネルギー関連事業をはじめとする各種技術設計、コンサルティング並びにプロジェクト・マネジメント、デジタルソリューションの提供を行っています。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 事業広報部

宮田、田畑

Email : jigyokoho@dentsu.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 第7マーケティング局

白州、村上

Email : cityflora@dentsu.co.jp